

杜の伝言板

ゆるるる

特集
復興への
道

高齢者向け配食サービスを通じて被災からの自立をめざす

●NPOワタママスマイル

地元住民の声を活かしたまちづくり支援

●NPO法人故郷まちづくりナイン・タウン

ニーズに合わせた支援をコーディネート

●南三陸町災害ボランティアセンター



▲泥かき



▲パラソル喫茶でハンドマッサージ

忘れない 伝えよう つながろう
～震災記録誌を発行～

●泉区福祉ガイドブック作成委員会

パラソル喫茶で仮設住宅に笑顔を

●NPO法人ナルク宮城けやきの会

●トピックス

NPOで高校生の夏ボラ体験2012 ～10回目の今年は～

●NPO法人必読!

あなたの団体は大丈夫? NPO法改正で、登記や定款の変更が必要になりました!

高齢者向け配食サービスを通じて

被災からの自立をめざす

NPOワタママスマイル



▲ワタママ食堂

NPOワタママスマイルは、甚大な津波被害を受けた石巻市渡波(わたば)地区の女性たちが、自立を目指して昨年十一月に立ち上げたNPOです。JR渡波駅近くの「ワタママ食堂」を拠点に、主に近隣の仮設住宅や、被災した自宅で生活しているお年寄りに、弁当や惣菜を宅配するサービスを行っています。

代表の阿部恵久代さんを始め、店長の日妻たみ子さんら五十〜六十代の女性四人が厨房を切り盛りし、男性二人が配達を手伝っています。手作りのやさしい味わいと、基本一食二五〇円という値段の手ごろさが評判を呼び、仮設住宅のほか近隣の工場や復旧工事業者、地域のスポーツ大会関係者からも注文が続々と入るようになりました。当初四十食の配達でスタートしたこの事業も、今年四月時点で目標の一日三百食を越え、多いときには三五〇食の注文を受け付けるようになり、ようやく採算ラインに達するようになりました。ほとんど休み返上

で働く彼女たちの動機となっているのは、自立への意欲と地域の人たちを支えたいという思いです。

避難所での炊き出し経験を活かす

NPOの立ち上げを支援したのは、青年海外協力隊OB O G Uで結成された「協力隊OVオールド・ボランティア」有志による震災支援の会(代表:菅野芳香さん)です。震災後、避難所となっていた渡波小学校で約七ヶ月間、炊き出し活動を行っていた菅野さんたちは、キャッシュ・フオー・ワーク(雇用により被災者等の経済的自立を促す手法)の観点から、炊き出しの手伝いにあたる避難女性ら約二十人を集め、有償ボランティアとして賃金を支払っていました。昨年十月に避難所閉鎖を迎えるにあたり、就労継続を希望する現メンバーに、炊き出しのノウハウを生かせる弁当宅配の事業を提案し、NPOの立ち上げとなりました。

NPOの名前は、渡波のお母さんたちの笑顔のある響りしを応援するという意味で、「ワタママスマイル」と名付けられました。収入の九割を占める弁当宅配事業のほか、会のロゴをプリントしたTシャツや缶バッジ、うちわなどのグッズを店頭やインターネットで販売していま

す。最近では、海外青年協力隊時代に菅野さんが支援に入っていた、アフリカガーナの村との縁で、現地の女性が作った布を、渡波地区の仮設住宅に住むお母さんたちに、エコバックにしてもらうという仕事プロジェクトも動き出しました。

自立へのきっかけづくり

震災前はスーパーや旅館で働いていた、ワタママ食堂店長の日妻さんは、援助を受けるよりも仕事をすることがうれしい。働いている時間は、震災のつらさを忘れることができること、自立への一歩を踏み出した心境を語ってくれました。菅野さんによれば、それまで避難所で暮らしていた被災女性たちが、炊き出しを手伝う仕事を始めたことで表情が生き生きと明るくなり、さらに周りの避難者も触発されて、自主的にハローワークに通うようになったそうです。「支援される側が支援する側に回ることで、人生に対する態度が見違えて変わる。何もしないより、短時間でも何かするきっかけを与えることが大切」と菅野さん。

NPOの運営にあたっては、渡波地区に移住した支援の会の菅野さんたちが引き続き、窓口としてマスコミなど外部とのやり取り、助成金申請などの事務作業などを引き受け、とくに法人格取得による信用力の強化に向け支援してい



▲厨房に立つ店長の日妻たみ子さん

ます。代表の阿部さんを中心に、伝票処理などの仕事を任せようになつてきていますが、自分たちで収入見通しや収支計画を立てられるまで、成長してもらいたいと、菅野さんは考えています。



▲支援の会代表の菅野芳香さん

惜しまれる閉店

順調に売り上げも伸び、東松島にプレハブの販売所を二号店として出店する計画もあったワタママ食堂ですが、借り受けた店舗の解体時期がいよいよ迫り、残念ながら今年四月末をもって閉店することになりました。新たな場所を見つけようにも震災後、地価が高騰し困難ということもあり、メンバーそれぞれは当面、新しい仕事を探すことになりました。とはいえ、食堂を支えてくれた地域のお客さんたちの声に応えるためにも、またいつか再開することができればというのが関係者の共通した切なる願いです。

NPOワタママスマイル

〒986-2112
石巻市後生橋1-3(現在、閉店中)
●TEL/ 080-3320-1478
●E-mail exjocv2011@gmail.com
(協力隊OV有志による震災支援の会)
●URL <http://watamamasmile.com/>

(東北大学大学院
経済学研究科
高橋有希 佐藤隆典
橋田清心)

地元住民の声を活かした

まちづくり支援

● NPO法人故郷まちづくりナイン・タウン

宮城県北部の九つの町が合併してできた登米市で活動する、NPO法人故郷まちづくりナイン・タウン（以下、ナイン・タウン）は、二十二年三月、行政や地域住民と協働による市民主体のまちづくりを掲げ、NPO法人を設立しました。事務所がある登米市中田町石森は、漫画「サイボーグ009」の作家石ノ森章太郎さんが生まれた地であり、事務所近くには石ノ森章太郎ふるさと記念館があります。当初、ナイン・タウンの活動は、この周辺の美化活動や、夏祭りの企画実施などを行っていました。が、三・一一の震災後は、登米市の隣町である南三陸町歌津地区の復興支援を、重点的に行っています。

● ● ● アジア協会と協働で復興支援

大震災発生後、ナイン・タウンの専務理事で事務局長の伊藤寿郎さんへ、公益社団法人アジア協会アジア友の会（JAFFS）が「宮城県へ支援に入る際にコーディネートして欲しい」と



▲事務局長の伊藤寿郎さん

い」という依頼がありました。大阪に本部があるアジア協会は一九七九年に設立され、アジア諸国で井戸を建設したり、植林活動や子ども教育支援をしている国際協力団体（NGO）です。この依頼を受け、ナイン・タウンとアジア協会との協働が始まりました。

震災当初は、被害が多かった南三陸町歌津地区での支援が手薄になっていたため、三月十九日から五月十日まで毎日、六〇〇食の炊き出しと、大阪や全国からの救援物資を配布しました。炊き出しにはナイン・タウンとアジア協会のスタッフのほか、ボランティア派遣の協力を得て行いました。緊急的な支援が終わったからは、県外からの支援物資を配布するだけでは地元にお金が回らないと考え、現地の商店会から買い付けをし、それを支援物資として配布するという形を取り、地元にお金が回る仕組みを作りました。「地元商店会の方々と一緒に避難所や仮設住宅へ物資を届けることで、現地の方々自らが立ち上がろうという気持ちが生まれたようです」と伊藤さんは言います。

● ● ● 手作り味噌で一歩前進

炊き出しの支援中に、味噌汁がおいしくないという話がありました。よくよく話を聞いてみると、歌津地区の多くの家庭では地元の材料を使用し、自家製味噌を作っているという文化があったのです。しかし、自家製味噌は樽ごと津波で流されてしまっています。そこでまず、昨年七月に南三陸町の方々を招いて、登米市内の農産加工場で味噌づくりをする、味噌プロジェクトを行いました。これが大変好評を得て、今までのように自分たちの味噌は自分たちで造りたいという声が強まり、地元味噌加工場を再建しようというプロジェクトに発展。そして、今年の四月、ジャパンブラッドフォームの助成金で歌津石泉に「石泉ふれあい味噌工房」が建設されました。加工場では味噌だけではなく、漬物やお菓子なども生産できます。味噌を作った主婦の方々は、「やっとこれで安心できた」と笑顔で持ち帰ります。「味噌作りによって、ようやく安定した生活への一歩が踏み出せた」と実感したようです」と伊藤さん。今年八月には加工場だけではなく、地場産品を販売する直売所みなさん館もオープンします。直売所は、南三陸地域の方ならば出店できるようにし、雇用も生み出せる仕組みです。



▲味噌づくり作業

● ● ● 継続した取り組みを行う為に

加工場と直売所の管理・運営は、今年設立した南三陸町民が主体の夢未来南三陸が行い、ナイン・タウンは、その運営を支援します。震災後、アジア協会と協働で活動してきたことにより、様々な経験やノウハウを蓄積し、多くのつながりも出来ました。これらを活かし、今後も南三陸の支援活動と共に、登米市の環境を活かしたまちづくりに取り組み、自らの組織も力をつけていく予定です。「ナイン・タウンとしての活動はこれからが本番です。今後も地元住民の声を大切に、住みやすい地域づくりの支援をしていきます」と伊藤さんは抱負を語りました。



▲ナイン・タウンとアジア協会のスタッフ

NPO法人
故郷まちづくりナイン・タウン

〒987-0601
登米市中田町石森字小人町71-2
●TEL・FAX/0220-44-4301

ニーズに合わせた支援を

コーディネイネーター

南三陸町災害ボランティアセンター



▲猪又隆弘さん

現在、被災地は少しずつ復興に向けて進んでいます。ただその歩みは遅く、まだまだボランティアを必要としている地域がありますが、ボランティアの数は激減しています。南三陸町災害ボランティアセンター(以下、南三陸ボラセン)も、その一つですが、何とか活動しやすい環境を整えようと、個人ボランティアを積極的に受け入れているほか、長期ボランティアのための簡易宿泊施設を設置したり、旅行会社とボランティア・パスツアーを企画するなど、工夫を重ねながら運営を続けています。

民間のノウハウを生かして運営

南三陸町は町の六十二%の家屋が津波で失われ、全人口の五%の方が亡くなりました。震災直後は、社会福祉協議会のスタッフも、避難所の運営や高齢者への対応などに忙殺されましたが、町長からの要望を受けて、町社会福祉協議会と、震災直後から支援活動を続けてい

る。一般社団法人RSJAPAN(本部：沖縄県)やNPO法人JHP.学校を作る会(東京)との協働で、三月二十六日に「南三陸町災害ボランティアセンター」を立ち上げました。当時、多くの災害ボラセンが、近隣の市町以外のボランティアの受け入れを制限していた中、南三陸ボラセンは規制なく受け入れました。立ち上げ当初から、住民のためになることなら、積極的にスピード感を持って行うことを心がけ、NPOやNGOと協力し合い、民間のノウハウを取り入れて運営してきました。南三陸町社会福祉協議会総務課長の猪又隆弘さん。立上げ後、早速全国から多くのボランティアが駆け付け、支援活動を始めました。

活動は、

震災直後は避難所運営の手伝いや全国から届く物資の仕訳、避難所閉鎖の後には、個人宅の泥かきやがれき撤去、現在は、養殖作業の



▲ボランティアのがれき撤去作業

手伝いをする漁業支援、畑作業の手伝いをする農業支援、がれき撤去、仮設住宅でのサロン運営などをおこなっています。

長期ボランティアを積極的に登用

南三陸ボラセンでは、数か月以上滞在しながらボランティアをしている、長期ボランティアには、ボランティア・リーダーになつてもらおうなど、運営に積極的に関わってもらっています。当初は車に泊まっていた長期ボランティアのために、秋以降、コンテナなどを使った簡易の宿泊施設や、食事スペース、風呂、トイレなどを設置したほか、洗濯機なども寄付してもらい、生活環境を整えました。

「長期ボランティアがいることで、作業効率が上がると共に、事故率も下がります。共に支援を支えてきた大切な仲間であり、こうした方々が暮らしやすい環境を作ること、今後も長期にわたり滞在し、復興を担ってもらいたいと考えています」と猪又さん。今後は数日間滞在をする中期ボランティアのための、簡易宿泊施設なども作っていく予定です。

企業と地元のマッチング会を開催

南三陸ボラセンには「支援をしたいが、どんなことが必要か?」と企業からの問い合わせが多く、そうしたニーズが多いのならば、積極的に働きかけよう、と、これまで名刺交換をした企業に声をかけて、東京の品川で今年の三月二十六日に、企業とのマッチング会を開催しました。南三陸町からは、漁協と南三陸さんさん商店街のメンバー十二名、ボラセンのスタッフなどと上京し、企業六

十社が参加しました。

マッチング会では、参加者ごとブースを設け、興味のある企業と直接やりとりをし、いくつかは具体的な支援がまとまったほか、いくつかは現在話し合いをつづけています。好評を得て、今後もつづげたいと猪又さんは考えています。



▲企業との地元のマッチング会の様子

復興へのフェーズが変われば、支援のニーズも変わってきます。南三陸ボラセンでは、そうしたニーズの掘り起こしを積極的にに行いながら、今後も長期にわたってボランティアのコーディネーターをつづけていく予定です。「こうして足を運んで下さる方たちがいることで、被災者は元気づかれ、物的な復興はもちろん、心の復興にも繋がります。今後一人でも多くの皆さんの、支援をお待ちしています。」

と猪又さん。ボランティアと共

南三陸町災害ボランティアセンター
 〒986-0725
 本吉郡南三陸町志津川字沼田56
 ●TEL/0226-46-4088(9~15時30分)
 ●URL <http://minamisanrikuvc.com/>

パラソル喫茶で仮設住宅に笑顔を

● NPO法人ナルク宮城けやきの会

NPO法人ナルク宮城けやきの会は、大阪にある「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」の宮城県支部として、一九九



▲ 代表理事の林茂さん

八年に仙台で設立されました。主に定年退職者がスタッフとなり、困っている高齢者を支える活動を行っているNPO法人です。具体的な活動は移動サービスがメインで、一人暮らしの高齢者や障害があり移動が困難な方へ、病院や職場への送迎をしています。また、家事や買い物、援助、庭の掃除など生活介助の時間預託活動(注)も行っています。約三〇〇人の会員から困りごとを依頼されると、元気な高齢者スタッフが対応することで、相互扶助の効果もあります。「頼まれたら、何とかしなくちゃ」と思って活動をするので、「こちらにも元気をもらい、もう一四年続けています」と代表理事の林茂さんは言います。

自分たちの出来る支援を

ナルク宮城は、昨年七月より仙台市や近郊の仮設住宅で、パラソル喫茶を

▼ 集会所でのパラソル喫茶



開いています。パラソル喫茶とは、仮設住宅の敷地に大きなパラソルを設置し、お茶やお菓子を振舞い、ほっとくつろげる場所と、入居者同士の交流の場を提供する、というものです。

力仕事は出来ないけれど、何か出来ることがあるはずと、自分達にできる支援を模索していたとき、全国各地のNPO等が連携・協力し、被災地で活動するNPOを、支援する為に立ち上がった組織「東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクト」が、阪神淡路大震災の時にパラソル喫茶を開き、仮設住宅で暮らす高齢者のコミュニティ形成支援と同時に、心身のケアを行っていたことを知りました。それは、普段から高齢者に対して活動

めました。

これまでに仙台市や近郊の仮設住宅で四〇回開催し、五月で八回目になる仮設住宅もあります。「最初は参加者の話を聞くことと涙が出ることもありましたが、活動を続けているうちに参加者の笑顔が増えているのを感じます」と林さんは言います。

● ● ● ハンドマッサージで心身のケアを

五月一日は、仙台市若林区荒井小学校用地にある仮設住宅の集



▲ ハンドマッサージの様子

会場で、パラソル喫茶が開かれました。まだ肌寒いこの時期は、集会場内での開催です。二〇名ほどの参加者は、コーヒーマチやお茶を飲み、キーボードの演奏に合わせて歌を歌い、将棋を指し、雑談をしながら過ごし交流を深めます。その中には、カメラで沢山の写真を撮っているスタッフもいます。参加者の多くは津波で家が流された方々。思い出の写真もすべて流されているため、出来るだけ多くの写真を本人に渡します。

また、スタッフが手ほどきを受けたハンドマッサージに参加者に行くと、一人一人が思い思いの話を始めます。被災した状況や今後の不安、悩み事……。ハンドマッサージを受けながら話しをする

す。孤立になりがちな高齢者の方が自ら話しをすることで、孤独死や介護予防にもつながります。「高齢者同士だからこそ分かり合うこともあり、寄り添った支援が出来ていると思います」と語る林さんは今年で八二歳になります。

パラソル喫茶は今年度も継続して行い、その後は仮設住宅の状況により活動を変化させていく予定です。ナルクは全国ネットワーク組織のため、パラソル喫茶を行うときは北海道や青森、大阪など全国の拠点から、毎回数名のスタッフが参加します。参加したスタッフはその場の手伝いだけではなく、被災地の現状を他県に伝える役割も担っています。

「このパラソル喫茶で、ほんの少しでも被災した方々の支えになればと思い活動を継続しています。以前からの活動もあり、業務は多くなっていますが、全国からの応援でなんとかがり切っています」と林さん。自分たち出来ることを探し、被災した方々の支えになっっているナルク宮城けやきの会は、これからも出来る範囲で寄り添っていきます。

(注)時間預託活動とは、会員相互の助け合い活動の中で、ボランティア活動をした時間、一時間＝一点として、点数を預託(貯金)しておき、自分がボランティアを必要としたとき、預託しておいた点数を引き出し、無料でボランティアを受けられる制度です。

NPO法人ナルク宮城けやきの会

〒981-3213
仙台市泉区南中山3-2-12
●TEL・FAX/022-379-9718

忘れない 伝えよう つながろう

震災記録誌を発行

泉区福祉ガイドブック作成委員会

泉区福祉ガイドブック作成委員会は、平成十一年に高齢者や障害児(者)、児童など地域の総合的な福祉に関する情報誌を発行したいという、有志が集まり結成しました。隔年で「泉区福祉ガイドブック」を発行するとともに、f mいすみの番組で、毎週火曜日に福祉に関する情報発信や、泉区福祉のつどい、福祉に関する講座などを開催しています。

今年四月には、東日本大震災の経験を後世に伝えるため、福祉施設や市民活動団体の震災時の体験や課題、その後の支援活動などをまとめた、記録誌「忘れない 伝えよう つながろう 東日本大震災の記録 宮城」を発行しました。

自分たちができる 支援は何か？

地震があった三月十一日は、たまたま三月の定例会の予定でしたが開催できず、しばらく活動を休止。再開は四月に入ってf mいすみの番組で、余震への対処の仕方や、震災に関する福祉の情報発信から始めました。五月十四日には定例会を開き、二か月ぶりに仲間を再開を喜び、その席上、編集委員長の谷田部眞理子さんから、震災の記録誌の発行が提案されました。その提案は、それぞれが自分にできる支援をしたい、

と考えていたメンバーからも共感を得て、記録誌作りがスタートしました。

その時の想いを谷田部さんは「今我々に何ができるだろうか？」と、二か月間、心に問いかけてきて、やはりこれまで培ってきた経験を活かし、大震災を忘れないため、教訓を後世に残すために、復興に向けてつながっていく力となる記録誌を作ることはないか、という思いにたどり着きました」と語っています。

足で集めた 幅広い分野の情報

最初に取り掛かったのは、ボランティア・ライターを確保することです。これまでのガイドブック作成の際お手伝いいただいているボランティア五名のほか、東北学院大学の学生五名、さらに知人の紹介で三名が加わり、十三名のボランティアが集まりました。

谷田部さんが構想を練った記録誌の構成は、記録編、支援編、資料編からなり、記録編は、高齢者や障害児(者)などの施設への震災についてのアンケートや、個人から体験談の寄稿、支援



▲谷田部眞理子さん

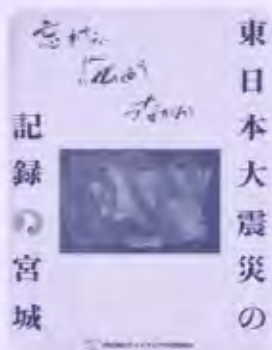
編は、被災地を支援する団体への取材で構成することに決定。掲載団体については、新聞や市民活動の情報誌、ネットなどからこまめに情報を収集して、八月までにほぼ決まりました。

そこで、八月末に委員会メンバーとボランティアを交えての、説明会を開催。それぞれ取材する団体を決めるため、全員に掲載団体を提示し、ライターそれぞれが興味のある分野、もともとボランティアをしていて繋がりがある団体などを選び、確定。会員、ボランティア合わせ二十三名で、仙台市内を中心とした、県内九十五団体の支援活動内容や、支援の課題、メッセージなどを取材しました。

また、記録編では高齢者、障害児(者)、児童、市民活動団体などに、被害状況や再開にあたって困ったこと、教訓、伝えたいことなどのアンケートを実施。泉区七十九団体と泉区以外十団体から返答を得ました。また、障害のある団体、認知症の家族の会、子育て支援団体などの代表の方に、個人レベルの体験談も寄稿してもらいました。編集過程で対談編も加わり、記録写真が巻頭に移されました。読み物としての工夫もされました。こうした、取材やアンケートなどを今年の一月末まで行い、その後の編集作業などを経て、四月に記録誌が完成しました。

災害の備えのために

記録誌は、赤い羽根共同募金の助成金を得て、千五百部印刷し、そのうちの八百部を、今後の防災に役立てて欲しいという願いから、仙台市内の関係機関はもとより、県内の全市町村、岩手・福



▲192ページからなる震災記録誌

島県の全市、今後津波などが予想される太平洋沿岸の県と市、政令指定都市、東京二十三区などの、行政、社会福祉協議会、図書館に寄贈しました。

「多くの皆さんが快く協力してくださったお陰でこうして、完成することができました。今後、災害復興支援に携わる際の手引き書として活用していただき、更に多くの団体やボランティアの皆さんがこの情報をもとに、新たな繋がりを作っていただけたらと願っています」と谷田部さん。七千部は一冊千円で、みやぎNPOプラザを始め、仙台市内の書店などで販売するほか、団体HPからも購入できます。

今後は、f mいすみでの情報発信など、これまでの活動を続けるほか、将来的には記録誌作成で繋がりのできた団体と、協働していければと谷田部さんは考えています。

泉区福祉ガイドブック作成委員会

〒981-3101
 仙台市泉区明石台南5-4-24
 ●TEL・FAX/022-218-0745
 ●URL
<http://homepage3.nifty.com/izumi-fukushiguide/>

NPOで高校生の 夏ボラ体験 〜十回目の今年は〜 2012

なかなかNPOに出会う機会のない高校生に、地域に根差し寄り添った活動を続ける、NPOを知ってもらおうきっかけになればと、杜の伝言板ゆるるは、毎年、夏休み期間を活用して「NPOで高校生の夏ボラ体験(以下、夏ボラ)」を実施しています。二〇〇三年の夏休みから始まり、今年で十回目を迎えます。

過去九年間に参加した高校生は、延べ一一九八人、参加校二二六校、そして受入れたNPOは延べ二二四団体に上ります。これまで、高校生を取り巻く環境や、受入れてくれるNPOの活動状況を考慮しながら、高校生とNPOとつなぐ、よりよい体験プログラムとしたい、と取り組んできました。

二〇〇八年からは、以前から二日の体験だけでは足りないという声「一」という声「二」が寄せられていたことから、三日間の連続した体験プログラムに変更。結果として、受入団体や高校生からも好評だったことから、以後体験期間は三日間を基本とつづけています。



▲ 昨年度の事前学習会

かほく108クラブとの共催

このプログラムは、四月から十月までは、ほとんどスタッフが専従になり、人件費が必要となるほか、情報の発信に伴う通信費、受入れてくれるNPOの経費、そして体験談集の発行と、毎年二〇〇万円を越える事業費が必要となります。この資金として、当初は民間の助成金を活用して実施してきましたが、二〇〇八年からは、かほく「108」クラブ(以下、108クラブ)と共催になり、毎年一〇〇万円の資金提供をいただいています。

108クラブは、河北新報グループに働く従業員と、その活動を応援しようとするグループ企業が、それぞれ寄付を出し合って運営している社会貢献クラブです。河北新報が創刊108周年を迎えた二〇〇五年十二月に発足したことから、その名前となりました。

具体的な活動としては、二〇〇七年に、かほく「108」ファンドを創設。未来を担う子どもたちの心と体を育む活動を展開する、団体を支援するための助成金を贈呈。この六年間で四十四団体に助成しています。また、夏ボラ体験やNPO訪問バスツアーをゆる

▼ 八嶋力さん



ると共催しているほか、路上生活者支援では夜回りグループへの物品提供やカンパの拠出、招待企画では、楽天・ベガルタのホームゲームに、仙台市内の児童養護施設の子どもたちを招待するなどの、活動をしています。

夏ボラとの共催は、108クラブ立ち上げの際に「市民活動とは何か、NPOとは」について講義を行った、ゆるるの大久保代表理事との繋がりが、夏ボラプログラムの趣旨に賛同。過去の実績や、かほく108ファンドのキーワードが重なり、二〇〇八年より共催を開始しました。

共催内容は、資金面のサポートに加え、河北新報が管理運営を行っている地域SNSサイト「ふらっと」で、夏ボラプログラムコーナーを開設。ブログは体験を終えた高校生から届いた内容を、すばやく事務局でアップしています。さらに夏ボラでは、自身の体験を振り返るきっかけになる、「体験談集」を年度終わりに発行していますが、体験談作成の一助になれば、と、昨年度から、高校生と受入団体が顔合わせを行う事前学習会で「文章の書き方講座」を行いました。高校生からは、「具体的なポイントを聞くことで、それを頭に入れて体験に挑めそうです」「書くポイントが押さえられました」など、多くの声が寄せられました。

これまでの夏ボラを振り返り、108

クラブ事務局の八嶋力さんは「五年間関わってきて、大変だと感じたことは特にありません。団体打合せ会や学習会に参加して感じることは、地域に根差し地道な活動を行っている団体があるということ、私たちが知ることでできる良い機会だと思えます」と話しています。今後の課題として「108クラブの関わりは、まだ不十分と考えています。高校生が体験するNPOの現場に、クラブ会員も参加して一緒に体験すること。これが実現できれば、地域の活動に参加することで、会員も成長し、その後の仕事に広がりが出てくるはず」と思いを語ってくれました。

今年度の夏ボラは、新たに三団体が加わり、合計二十五の受入団体となりました。六月からは夏ボラ募集を開始します。現在、今年度の受入団体の活動内容などを「夏ボラ」ブログで紹介しています。ぜひ、ご覧になってください。

NPOで高校生の 夏ボラ体験2012

夏ボラ体験先...25団体

主催:(特活)杜の伝言板ゆるる
共催:かほく「108」クラブ
協賛:河北新報社グループ11社
東北労働金庫

問合せ:(特活)杜の伝言板ゆるる
連絡先は、裏表紙をご覧ください。

URL
<http://flat.kahoku.co.jp/u/yururu/>

あなたの団体は大丈夫? NPO法改正で、登記や定款の変更が 必要になりました!

一九九八年の成立以来の大改正となった特定非営利活動促進法が、四月一日から施行されました。この法改正で、それぞれの法人が登記や定款を変更しなければならぬ事項が、発生しています。

すべての法人に関係し、怠ると過料に処せられることもあるので、早めに法改正の内容を押さえることが必要です。

理事長を登記? 全理事を登記?

これまで多くのNPO法人は、定款に「理事長はこの法人を代表し、その業務を総理する」と定めてあり、今回の法改正で「代表権の範囲又は制限に関する定めがあるときは、その定め」が登記事項とされました。そのため、代表権を持たない理事の代表権喪失届を出して理事長だけの登記に変えるか、理事全員を代表権を有する者として定款に定めるか、選択しなければなりません。また、副理事長や副代表、専務理事など、理事の一部に代表権を持たせることも可能です。登記の際は、その旨記載します。これらの変更は、法施行から六ヶ月以内、つまり十月一日までに、しなければなりません。

みなし総会決議をするためには…

NPO法人は、年一回は総会を開催しなければなりません。しかし、それ以外でも、総会での議決事項に当る事

案の議決が必要となったときは、社員(正会員)が一堂に会して総会を持つ必要がありました。それが、法改正により、社員全員が書面や電磁的記録(メールやCD-ROMなどの磁気媒体)で同意の意思表示をした時には、この提案を可決する社員総会が開催されたとみなす「みなし総会決議」ができるようになりました。みなし総会決議を行うにあたっては、議決や議事録に関する定款の変更が必要です。

「収支計算書」から 「活動計算書」へ

NPO法人の会計書類のうち、「収支計算書」が「活動計算書」になりました。「収支計算書」では、現預金の収支を記載していたのに対し、「活動計算書」では各事業にどれだけコストがかかったかを記載するようになります。また、「その他の事業」も含めて一枚の計算書で提出できるようになりました。

なお、法改正の経過措置として、当分の間は「活動計算書」に代えて従来の「収支計算書」の提出が可能です。

これらに対応するためには、まずは自分たちの定款を読みなおすことが大切です。そして改正NPO法と照らし合わせ、今後の手続きの手順を確認してください。分からないことや不安なことは所轄庁に相談するほか、みやぎNPOプラザの専門相談なども活用し、今後も適正な運営をしていきましょう!

●NPO法人の設立を新しく申請した団体
宮城県所轄分4月11日～5月10日 / 仙台市所轄分4月1日～5月10日

団体名	所在地	活動内容	受理日
BOND&JUSTICE	岩沼市	東日本大震災の被災者に対する災害復興活動や地域の活性化を図る事業等	4/11
Tree Seed	気仙沼市	地域コミュニティの形成、創出等の支援を行い、被災地域の復興と社会福祉へ貢献する	4/23
りあすの森	石巻市	自然との共生、相互扶助の理念のもと、心豊かで持続可能な地域づくりを行う	4/24
ゆいまーる	登米市	高齢者や父子家庭、母子家庭に対する生活支援	4/26
東北復興技術機構	宮城野区	企業誘致コンサルタント事業、産官学共同プロジェクトのコンサルティング事業等	4/16
まげんdeネット・みやぎ	若林区	子どもの健全育成のための課外活動支援事業、各地の各種市民団体等と被災住民との交流事業等	5/1
住まいの相談	泉区	建築物に関する相談、子供たちへの就学支援事業	5/9

宮城県のNPO法人数 **288 団体**
※2012年5月10日現在

仙台市のNPO法人数 **369 団体**
※2012年5月10日現在

●NPO法人に認証された団体
宮城県所轄分 4月11日～5月10日 / 仙台市所轄分4月1日～5月10日

団体名	所在地	活動内容	受理日
蜂の子	石巻市	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業等	4/13
みやぎ子ども養育支援の会	石巻市	宮城県内の子ども達に対する小規模住居型児童養育事業等	4/13
蓮笑	多賀城市	災害地域における復興支援コーディネート事業等	4/13
らんらん多賀城	塩竈市	障がい者や高齢者等に対するウォーキング及びジョギング実施事業	4/18
底上げ	気仙沼市	自然災害で被災した人々に対する災害支援活動等	5/10
日本調整療法協会	若林区	健康増進ボランティア活動事業、ボランティア能力育成事業等	4/19
防災士会みやぎ	宮城野区	防災知識の啓蒙活動事業、幅広い地域へ防災講演等の開催事業等	4/19
東北外科臨床研究推進機構 NEXTSURG	青葉区	臨床研究支援事業、新規臨床研究推進事業等	4/26
いろはの森	青葉区	高齢者・障害児者の環境改善事業、青少年の社会教育事業等	5/1
千年の木	宮城野区	子ども・青少年や家族等からの相談を受ける事業等	5/7

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。
みやぎNPO情報ネット
<http://www.miyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区榎ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

被災した芸術家・団体のための サポートプログラム(第3期)

- 対象団体:これまで岩手・宮城・福島を活動拠点とし、東日本大震災で被災した芸術家・団体等
※表現の分野や生活・活動拠点は不問。場やメディアの運営なども含む
- 助成金額:10万円の支援金(10件程度を採択予定)
- 募集締切:6月15日(金)～6月22日(金) 必着
- 連絡先:アーツエイド東北 事務局
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3 LC-111
FAX:022-268-4042
E-mail:info@aat.or.jp

配食用小型電気自動車寄贈事業

- 対象団体:1)原則週1回以上の配食活動を行っているボランティアグループ(NPO等非営利団体・法人を含む)
2)都道府県・政令指定都市の社会福祉協議会および各管内の市区町村社会福祉協議会の推薦を受けた団体、また、全国老人給食協会の会員で、同協会の推薦を受けた団体
- 助成内容:配食用小型電気自動車(1グループ1台、10グループ程度)
※1台あたり総額110万円を限度とする(車両登録費、ロゴ記載費、荷台改造費を含む)
- 募集締切:6月29日(金) 必着
- 連絡先:財団法人 みずほ教育福祉財団
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-5
みずほ銀行本店内
TEL:03-3596-4532 FAX:03-3596-4531
E-mail:FJP36105@nifty.com

2012年度 ファイザープログラム

～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

- 助成対象:(1)中堅世代の人々(主に30・40・50歳代)の心身のケアに関する課題
(2)心身のケアを得ることが困難な人々の健康の保障に関する課題
(3)上記各課題の解決に関連した、ヘルスケアを重視した社会の実現に関する課題
- 対象団体:原則として2年以上の活動実績を持つ民間の非営利団体(法人格の有無は不問)
- 助成金額:1件あたり上限300万円(総額1,800万円、10件程度)
- 助成期間:2013年内に実施されるプロジェクト
- 募集締切:6月11日(月)～6月29日(金) 必着
- 連絡先:ファイザープログラム事務局
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
新宿文化クイントビル ファイザー株式会社
TEL:03-5309-7663 FAX:03-5309-9004

三井物産環境基金

「2012年度 活動助成(東日本大震災復興助成)」

- 助成対象:所定の分野における、東日本大震災の被災により発生した環境問題の改善・解決、および被災地域における地球環境に配慮した持続可能な社会の復興・再生を行う活動
- 対象団体:日本国内に拠点をもち、NPO法人、一般社団・財団法人、公益社団・財団法人、特例民法法人、大学、高等専門学校
- 助成金額:上限なし(ただし、事業実施のため必要な金額の範囲内)

- 助成期間:2012年10月より3年以内(1年単位で助成契約)
※すでに活動している団体については、2012年4月～9月を先行期間として助成可能
- 募集締切:2012年6月29日(金) 消印または宅配便受付印有効
- 連絡先:三井物産株式会社 環境・社会貢献部
環境基金「活動助成(復興)」係
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1
TEL:03-6705-6156
E-mail:12MBK-KankyokikinTKVCF@mitsui.com

文化財保護活動への助成

- 助成対象:以下の文化財に対する保護活動
1)美術・工芸品等の文化財(無形を含む)
2)史跡・考古資料等の歴史遺産の保存・修復・公開活用
3)これらの環境保全等に関わる事業や活動
※東日本大震災の被災地からの申込については、特別枠を設け、できるだけ優先的に扱います
- 対象団体:非営利法人または所定の要件を満たす任意団体
- 助成金額:原則として、1件あたり数10万円～数100万円
- 助成期間:2013年4月～2014年3月までに実施する事業
- 募集締切:6月末日 必着
- 連絡先:公益財団法人 朝日新聞文化財団
〒104-0061 東京都中央区銀座6-6-7 朝日ビル4階
TEL:03-5568-8816 FAX:03-3571-4032
E-mail:jimukyoku@asahizaidan.or.jp
※詳しくは当財団のホームページをご覧ください

青少年スポーツ振興に関する助成金(後期)

- 対象団体:青少年スポーツの振興に関する事業を積極的にを行い、奨励し、または自ら行い、かつ3年以上継続して活動している、以下の要件を満たす団体
1)スポーツ振興を主たる目的とする一般社団法人又は一般財団法人
2)上記以外の団体で、所定の要件を備える団体
- 対象期間:平成24年10月～平成25年3月の事業
- 助成金額:概ね100万円以内
(年度内に予定する1つの事業予算の2分の1)
- 募集締切:6月30日(土) 消印有効
- 連絡先:財団法人 ヨネックススポーツ振興財団
〒113-8543 東京都文京区湯島3-23-13
TEL:03-3839-7195 FAX:03-3839-7196
E-mail:zaidan@yonex.co.jp

こ～ぷほっとわ～く基金 福祉活動・研究助成

- 助成対象:高齢者・障がい者・児童の生活支援活動、住みよい社会を作るための調査・研究活動、交流集会・研究会・シンポジウムの開催等の非営利活動
その他、上記の目的を達成するために必要な事業
- 対象団体:宮城県内で活動する非営利の団体・個人
- 助成金額:原則として上限30万円※これまで3回の助成を受けている場合は対象外
講演会・フォーラム・演奏会などの開催に対しては、全国規模10万円・宮城県内規模5万円をめぐり助成
- 募集締切:7月20日(金)消印有効
- 連絡先:こ～ぷほっとわ～く基金 事務局
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
みやぎ生協文化会館ウイズ1階 みやぎ生活協同組合生活文化部福祉・文化活動事務局
こ～ぷほっとわ～く基金係
TEL:022-218-5331 FAX:022-218-5945
E-mail:sn.mfukushinet@todock.jp

- 参加費:500円(当日支払い)
- 託児:先着順、子ども1名300円
※対象:6ヶ月以上小学校1年生まで
※しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください
- 申込方法:下記連絡先まで申込
- 主催:公益財団法人 せんだい男女共同参画財団
- 連絡先:仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台
TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045
URL:http://www.sendai-l.jp

6/30 脱原発社会へ 放射能と生命 ～こころ・いのち・くらしを守る視点から～

フクシマを「核時代」の終わりの始まりに。子どもたちに核汚染のない「安全な地球」を残すために、今、何ができるか、何をなすべきか

- 日時:6月30日(土) 13:30～16:00(開場12:30)
- 場所:エル・パーク仙台 セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1 仙台三越定禅寺通り館5F)
- 講師:振津かつみ氏(兵庫医科大学非常勤講師、
遺伝学・放射線基礎医学)
- ゲストスピーカー:
阿部美紀子氏(女川町議会議員)
吉田貞子氏(子どもたちを放射能から守る
みやぎネットワーク)
- 参加費:500円
- 託児:6月10日までに申込(申込多数時抽選)
※対象年齢:4歳まで、おやつ代他:300円
- 申込方法:下記連絡先までFAXにて申込
- 主催:政治を考える女性の会
- 連絡先:FAX:022-254-3308(秋山)
022-251-3900(浅野)

7/1 第52回 宮城県母親大会in塩竈

生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます。～いま 声をあげましょう!美しい大地・空・海を引き継ぐために～

- 日時:7月1日(日) 9:30～16:00(9:00開場)
- 場所:塩竈市立月見ヶ丘小学校
- 内容:「放射能汚染からいのちを守るために」
- 講師:安斎育郎氏(立命館大学名誉教授)
- 参加費:700円 ※高校生以下無料
- 託児:300円(1歳児から)
- 主催:第52回宮城県母親大会実行委員会

塩竈実行委員会

- 連絡先:第52回宮城県母親大会実行委員会
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
TEL/FAX:022-219-2693

7/10 基礎から始めるシニア講座 ～暑中見舞いはがきを作ろう!

今年はパソコンで暑中お見舞いを出してみませんか?パソコンの基礎操作から丁寧に指導いたします。

- 日時:7月10日(火) 10:00～16:00
- 場所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 内容:マウス操作・文字入力・ワープロ操作
※仙台会場はパソコン持込み可(予約時にお知らせください)
- 定員:10名
- 参加費:3,000円(テキスト込)
- 申込方法:下記連絡先まで申込 ※要予約
- 申込締切:7月3日(火)
- 主催:(特活)パソコンママネット
- 連絡先:〒986-0873 石巻市山下町2-2-50
TEL:0225-23-0822
(月～金(祝・祭日除く) 9:00～15:00)
URL:http://www.pasomama.com/

7/14 壮・熟年からのライフプラン創り NPO寺子屋塾 第2回 成年後見制度と遺言・相続への助走(1)

少子・高齢社会、長期化する景気低迷、雇用・就業不安など、子は自分の世帯を守るだけで精一杯の社会。成年後見制度の理念と遺言・相続の関係性から理解を深めていくこととします。

- 日時:7月14日(土) 14:00～15:30
- 場所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 内容:★成年後見制度の理念とライフプラン
★事例とともに、遺言・相続理解への助走
- 定員:30名(定員になり次第締切)
- 参加費:500円
- 申込方法:氏名、年齢、電話番号、住所、資格等を明記の上、メールにて下記連絡先まで申込
- 主催:(特活)経営体質改善サポート宮城
- 連絡先:(担当:佐藤)
E-mail:satosun@mopera.net

情報をお待ちしています

- 申込方法:問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切:毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人社の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人社の伝言板ゆるるが宮城県と盛岡で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

- 主 催:(特活)黒川こころの応援団/ニシビリカ
- 連 絡 先:(担当:遠藤)
〒981-3621 黒川郡大和町吉岡字館下47
TEL:022-347-0028、070-5546-8669

6/21 NPOのための会計・税務講座(2) ミスや不正を防ぐ! お金の管理の仕組み

「会計を一人に任せきり」「領収書や請求書が山のようにたまってしまった」このようなミスや不正が起こらないように、「資金管理のしくみ」を整えて信頼される団体を目指しましょう!

- 日 時:6月21日(木) 13:30~16:30
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師:成田由加里さん(税理士、公認会計士)
- 対 象:市民活動団体の代表・スタッフ、会計担当
- 定 員:20名(申込先着順)
- 資 料 代:1,000円
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画:実施:(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

6/23 第9回さい帯血バンク支援 「親と子のふれあいコンサート」

馴染みのあるクラシック曲を中心とした演奏に出演者によるトークを織り交ぜ、会場参加企画も盛り込んだ企画を行います。

- 日 時:6月23日(土) 14:00~(開場13:30)
- 場 所:仙台市太白区文化センター 楽楽楽ホール
(仙台市太白区長町5-3-2)
- 演 奏 者:柴生田桂子氏(ヴァイオリン)、中川賢一氏(ピアノ)
ケッセ・パッサ氏(クラリネット&アコーディオン)
中村優子氏(ソプラノ)
- 参 加 費:シングル券2,500円(前売り2,000円)
ペア券3,000円(前売りのみ) ※全席自由
※3歳以下で座席を使わないお子さまは無料
- 申込方法:チケット取扱店にて購入、または下記連絡先
に問合せで申込。チケット取扱店については
主催団体までお問い合わせください
- 主 催:(特活)宮城さい帯血バンク
- 連 絡 先:TEL:022-275-2113
E-mail:miyagicb@idac.tohoku.ac.jp

6/26 NPOのための経営相談

事業計画を見直したい、何から手をつけていいかわからない...そんな時は外からの視点を取り入れてみませんか?

- 日 時:6月26日(火) 13:00~17:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ
- 定 員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

6/27 ママまつりin仙台

全国15ヶ所で開催されるママまつりが仙台にもやってき

た!ママによる、ママのための「試せる、学べる、創れる、癒される」イベントです。ベビーカーでの来場もOKです!

- 日 時:6月27日(水) 11:00~16:00
- 場 所:仙台市情報・産業プラザ ネットU
多目的ホール(AER5階)
- 内 容:以下のライフスタイルテーマにわかれたマ
マブース・サポーターブースが出演
★ママによる手作り雑貨マーケット
★ママの癒し・健康・ビューティーの空間
★暮らしを楽しむワークショップ
★家族の安心安全を考えた笑顔の食卓づくり
- 参加費:無料
- 主 催:(特活)チルドリン
- 連 絡 先:〒981-3132 仙台市泉区将監6-3-8-43
TEL:090-1376-9141
E-mail:mamamatsuri0627@gmail.com
URL:http://www.child-rin.com

6/28 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時:6月28日(木) 13:00~17:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ
- 定 員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

6/30 地域活動を活性化させる 印刷物デザイン講座

チラシやニュースレターなど、地域を活性化するための情報発信には、印刷物が最適です。手に取り読んでもらうためのデザイン・レイアウトを基礎から実例を交えて学びます。

- 日 時:6月30日(土) 9:30~11:30
- 場 所:多賀城市市民活動サポートセンター 会議室101
- 講 師:真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定 員:15名(申込先着順)
- 参加費:1,000円
- 主 催:NPOメディアデザインサポート
- 連 絡 先:〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL:090-3049-0613 FAX:022-224-5308
E-mail:npo@md-sendai.com
URL:http://www.md-sendai.com

6/30 ワーキングマザーズカフェ

いちばん子育てに手がかかる時期を、みんなはどう乗り切っているのでしょうか。ワーキングマザーどうして、語り合いませんか?

- 日 時:6月30日(土) 10:30~12:00
- 場 所:エル・ソーラ仙台 サポートルーム
(アエルビル29階)
- 対 象:未就学児のワーキングマザー
- 定 員:20名

6/9 **7/14** **仙台・ダイエット・サークルSDC45**

クーシュの会では、健康維持のためのダイエットに関する活動を始めました。日頃からダイエットに取り組んでいる方はもちろん、健康のためにと考えている方等、一緒に楽しみませんか？

- 日 時: 第2回 6月9日(土) 10:00~12:00
第3回 7月14日(土) 9:30~11:30
- 場 所: みやぎNPOプラザ 第3会議室
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 持 ち 物: パスタオル、動きやすい格好 ほか
- 対 象: 女性限定
- 参 加 費: ※途中参加可能、2ヶ月1,000円、1ヶ月500円
- 申 込 方 法: 下記連絡先までFAXまたはメールにて要事前申込
- 主 催: クーシュの会
- 連 絡 先: (担当: 斎藤)
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
FAX: 022-279-7085
E-mail: sdc45blife@yahoo.co.jp

6/10 **仙台ピアカウンセリングの集い~第9回**
仲間と共に癒しの時を持ちませんか！~

大震災であなたの心は折れそうになっていませんか？こんな時だからこそ話し合える仲間が必要なんです！仲間と経験と力と希望を分かち合い共に勇気を持って力強く新しい人生(回復と生活の再建)に出発しませんか？

- 日 時: 6月10日(日) 14:00~16:00
- 会 場: 仙台市福祉プラザ10階 第3研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 対 象: 精神障害当事者、健常者であっても今回の大地震で心が痛み悩んでいる方及び家族に限定
(タイプB型例会クローズ方式)
- 内 容: ひたすら体験を語り又聴くことを通して精神疾患からの回復を目指す自助グループの集いです
- 定 員: 20名(予約制)
- 参 加 費: 無料
- 申 込 方 法: 下記連絡先まで電話またはメールにて申込
- 主 催: 仙台心のケア研究会
- 後 援: 仙台市精神保健福祉総合センター
(はあとぼーと仙台)
- 連 絡 先: (担当: 吉村) TEL: 080-3328-7186
E-mail: qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp

6/14 **つるがや元気会健康講座「医食同源のすすめ」**
~死ぬまで元気でいたいなら~

毎日ごく自然に口にできて、健康維持や病気の予防に役立つ「ほんもの」こそ、「医食同源」の心です。皆さんふるってご参加ください。

- 日 時: 6月14日(木) 14:00~16:00
- 場 所: 鶴ヶ谷市民センター 第1会議室
- 講 師: 岡希太郎氏(東京薬科大学名誉教授)
- 参 加 費: 無料
- 申 込 方 法: 下記連絡先まで問合せ
- 主 催: つるがや元気会
- 連 絡 先: ひまわり手芸店(担当: 芦澤)
TEL: 022-251-5663

6/14 **仙台・歴史アラカルト**

「伊達政宗以前の仙台」をテーマに、開府以前の歴史や当時の仙台周辺の様子をさぐります。

- 日 時: 6月14日(木) 10:30~12:00
- 場 所: サロンわい・わい一番町
(仙台市青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル8F)
- 講 師: 遠藤勝目氏(よっこより代表)
- 参 加 費: 一般1,000円(資料代含む)
シニアネット仙台会員700円
- 申 込 方 法: 下記連絡先まで申込
- 申 込 締 切: 開講日の一週間前まで
- 主 催: (特活)シニアのための市民ネットワーク仙台
- 連 絡 先: TEL/FAX: 022-217-0101
URL: <http://www.sendai-senior.org/rev1/>

6/17 **自然と触れ合う**
水辺の貴重な生き物観察会

大崎市の地域住民をあげて保護と復元に取り組んでいる、天然記念物「シナイモツゴ」や、激減している「ゼニタナゴ」などに会いに行きましょう！

- 日 時: 6月17日(日) 9:00~17:00
- 場 所: 大崎市鹿島台深谷周辺
(仙台駅集合、貸切バスで移動)
※詳細な集合場所については、後日参加者に連絡します
- 内 容: ★シナイモツゴの産卵を観察
★生き物調査 ★振り返り など
- 対 象: 小学生と保護者(親子で参加)
※小さいお子さんはご遠慮ください
- 定 員: 30名(申込先着順)
- 参 加 費: 無料(昼食付き)
- 持 ち 物: 濡れてもいい長靴か水の中に入れても脱げないビーチシューズ、タオル、帽子、着替え、水筒
- 申 込 方 法: 代表申込者名、代表者連絡先(TEL、FAX、E-mail)、全参加者名(名前、年齢、性別)、居住地、学年を明記の上、(特活)杜の伝言板ゆるるまで申込
SAVE JAPANのHP(<http://savejapan-pj.net/sj2012/miyagi01/>)からの申し込みも可能
- 申 込 締 切: 6月11日(月)
- 共 催: (特活)シナイモツゴ郷の会
(特活)杜の伝言板ゆるる
認定NPO法人日本NPOセンター
- 協 賛: 株式会社損害保険ジャパン
- 連 絡 先: (特活)杜の伝言板ゆるる
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327
E-mail: npo@yururu.com
URL: <http://yururu.com/>

6/19 ▶ **7/1** **ニシピリカ・こらぼれいしょん展**

当工場のさをり織りに「nisipirica(ニシピリカ)」と名付けての初めての展示会となります。また、県内外で活躍されている各作家さんとnisipiricaとのコラボレーションをします。

- 日 時: 6月19日(火)~7月1日(日) 11:00~17:00
※日曜日は16:00まで、月曜日はお休み
- 場 所: ギャラリーSenbi
(仙台市青葉区春日町3-9)

- 講師:今野ゆかり氏((社)日本太極柔力球協会普及指導員)
- 参加費:月額1,200円

【スバ泉ヶ岳教室】

- 日時:毎月第4土曜日 13:00~14:00
- 場所:スバ泉ヶ岳(日帰り温泉)館内(仙台市泉区福岡字上鮎原12-9)
- 参加費:月額1,300円(スバ入館料含む)

【共通事項】

- 申込方法:下記連絡先まで問合せ
- 主催:(特活)宮城県健康管理士会
- 連絡先:(八木山南教室担当:今野)
TEL:022-229-0591、080-1858-4730
(スバ泉ヶ岳教室担当:細越)
TEL:090-5235-0307

相談・つながるサロン

市民活動とシニア活動の総合相談コーナー、また、団体同士の交流・連携を図るためのフリースペースを設置しました。相談でつながる、交流でつながる「相談・つながるサロン」をお気軽にご利用ください。

- 日時:平日 10:00~20:00
日曜・祝日 10:00~17:00
※月一回、団体同士が情報交換し学び合う「サポセンサロン」を開催予定
- 場所:仙台市市民活動サポートセンター3F
- 内容:下記相談に対応
★団体運営 ★法人格の取得
★復興支援活動 ★企業の社会貢献
★シニア世代の地域活動 など
- 申込方法:下記連絡先まで申込
- 主催:仙台市市民活動サポートセンター
- 連絡先:仙台市市民活動サポートセンター
TEL:022-212-3010
仙台市シニア活動支援センター
TEL:022-217-3983

就労支援事業 まきばワークス

私たちは「生き辛さを抱えた在りのままの人間同士が支えあって生きる」ことを理念として、「安心して働ける自分づくりの支援」に取り組んでいます。

- 活動内容:・仕事に関する相談や個別支援
・働く練習の場 ・資格取得勉強会の開催
・まきばフリースクールの利用
- 活動日時:月~金曜日 10:00~17:00(祝日休み)
- 対象:15歳以上の就労を目標としている方
※本人が希望していることが原則
- 定員:6名
- 利用料金:入会時:(特活)まきばフリースクールの賛助会員(1口3,000円)に入会
月額:10,000円(昼食費込み)
年会費:10,000円(相談等個別支援費)
※寮やフリースクールプログラム、高認取得等の学習サポート、送迎などを利用される場合別途料金
- 利用期間:原則2年
- 申込方法:下記連絡先まで電話または来所にて相談受付
※電話相談は平日9:00~17:00(無料)

※来所相談は電話・メールにて要事前申込(初回無料)

- 主催:(特活)まきばフリースクール
- 連絡先:〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18
TEL:0228-25-4481 FAX:0228-25-4482
E-mail:makibafree@mail.goo.ne.jp
URL:http://www3.ocn.ne.jp/~mkb-free

岩切第二・下飯田わくわく農園 募集

自然農食みやぎが管理する新しい農園の開園準備が整いましたので、募集を開始します!

- 募集区画:岩切第二・下飯田わくわく農園 各16区画
※1区画15坪
- 栽培条件:農薬・化学肥料を使用せず、微生物を活用した「有機栽培・自然栽培」
※栽培方法は指導します
- 賃料:10,000円(平成24年6月~平成25年3月)
※法人の個人会費(3,000円)が別途必要
- 期間:平成25年3月まで
- 申込方法:下記連絡先まで問合せ
- 主催:(特活)自然農食みやぎ
- 連絡先:(担当:鈴木)
TEL/FAX:022-297-1692
携帯:070-6497-3694
URL:http://snsmiyagi.com/

イベント

毎週火曜 障がい者、高齢者、難病者・他の初心者講習 「うーん?わかった!と言える」パソコン講座

これからパソコンを始める方、使っているけど分からないことがある方などのため、毎週開催しているパソコン講座です。マンツーマンに近い形で、個別ニーズに対応します。

- 日時:毎週火曜日 13:00~15:00
※祝祭日の場合は休講
- 場所:みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 参加費:1,000円/1回 ※ポイントカード発行
5回受講で6回目は半額、更に5回受講で1回無料
- 申込方法:所定の申込書に記入の上、下記連絡先まで申込
- 主催:(特活)ビートスイッチ
- 連絡先:〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ レターケースNo.28
TEL:070-5620-8198 FAX:022-292-7162
URL:http://www.b-taihaku.net

毎週水曜 NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日時:毎週水曜日 13:00~17:00
- 場所:みやぎNPOプラザ
- 定員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

- 参加方法:(1)参加するコースを選ぶ
(STEP A)キレイにし隊コース
(とにかく拾う!)
(STEP B)数えてみ隊コース
(種類ごとに数えて拾う!)
(STEP C)考えてみ隊コース
(ポイ捨ての解決策を考える!)
(2)参加キットを申し込む
所定の申込書に記入の上、FAX・郵送にて、
またはHPから申込
申込期間:6月1日(金)~6月21日(木)
(3)参加キットが届く
キット内容:ごみ袋、活動マニュアル、アレ
マレポート(活動報告様式)、アレマ隊員証
(小学生以下にはミニ缶バッジ)
(4)選んだコースで活動する(活動は仙台市内が対象)
(5)アレマレポートを送る(6/29締切)
(6)みんなの活動成果をホームページでチェック!

- 主 催:仙台市
- 連絡先:環境局 廃棄物管理課
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-7-17
TEL:022-214-8250 FAX:022-214-8277

在住外国人による“日本語弁論大会” 出場者募集!!

日本語を学ぶ外国籍市民の皆さん!あなたの想いを日本語で伝えませんか?大きな会場で、大きな声で、大きな想いを、たくさんの人に聞かせてください。

- 日 時:7月29日(日)(せんだい地球フェスタ開催時)
※時間未定、決定次第出場者に通知
- 場 所:仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山)
- 発表内容:5分間程度で未発表のもの
(私の好きな日本語、震災で感じたこと、など)
- 出場資格:仙台市または近郊に住む外国出身の方
※過去の上位入賞者は参加不可
- 定 員:10名(応募者多数の場合は選考)
- 申込方法:所定の申込書に記入の上、発表原稿を添付し
て下記連絡先まで提出
- 申込締切:6月18日(月)
- 主 催:財団法人 仙台国際交流協会(SIRA)
- 連絡先:(担当:荻野)
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
TEL:022-265-2480 E-mail:ogino@sira.or.jp
URL:http://www.sira.or.jp

第15回 まちかどのフィランソロピスト賞

日本にも寄付の文化が育つことを願って、さまざまな思いや心あたたまるエピソードを秘めた寄付を募集します。

- 対 象:★一般部門(他薦のみ)
社会のために私財を投じた個人またはグループ
★青少年部門(自薦・他薦)
「青少年フィランソロピスト賞」として開催
社会のために寄付・募金活動をした高校生
までの個人またはグループ(学校・学級・
部活動単位も可)
- 対象期間:2002年(平成14年)1月1日から現在
- 選考基準:・フィランソロピー精神(人類愛)から生まれ
た寄付であるもの
・社会のために役立つ寄付であるもの
・寄付にあたって人々を感動させるエピソード
があるもの
- 選考方法:書類審査および訪問調査(ヒアリング)
- 応募方法:所定の推薦書用紙に記入の上、郵送にて申込
推薦書用紙はHPからダウンロード可能です
- 応募締切:6月25日(月) 消印有効
- 主 催:公益社団法人日本フィランソロピー協会
- 連絡先:「まちかどのフィランソロピスト賞」事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル244
TEL:03-5205-7580 FAX:03-5205-7585
E-mail:HPのお問合せフォームをご利用ください
URL:http://www.philanthropy.or.jp/



事業案内



太極柔力球(たいきょくじゅうりょく きゅう) 受講者募集

音楽に合わせて、重心を移動させながら専用のラケットにボールを乗せたまま円弧を描くように動かす中国生まれのニュースポーツです。ゆったりとした動きなのでなたでも楽しめます。

【八木山南教室】

- 日 時:第2・第4金曜日 13:30~14:30
- 場 所:八木山南コミュニティセンター
多目的ホール(仙台市太白区鉤取3-13-1)

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2012.5.16現在) 敬称略

●正会員44名

- ★石巻市 ●NPO法人輝かなかまチャレンジ
地域活動支援センターころ・さをり
- ★氣仙沼市 ●(特活)泉里会 ★仙台市 ●堀川晴代
- ★山元町 ●(特活)住民互助福祉団体 ささえ愛山元

●賛助会員29名

- ★仙台市 ●NPO法人オリープの木 ●ぼけっと・はうす
- ★栗松島市 ●NPO法人創る村

●情報会員71名

- ★塩釜市 ●ふれあいエスブ塩釜
- ★仙台市 ●安部光代 ●市川喜巳 ●佐藤理絵
●深野せつ子 ●CILたすけっと 杉山裕信
●白川由利枝 ●武山広美
●NPO法人のんびりすみちゃんの家
●(有)平野印刷所 ●本城とみ子

会 員 募 集

会員種類	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

森の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。

特に1997年に創刊した月刊社の伝言板ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。

これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動してまいりますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!

●会員には毎月「月刊社の伝言板ゆるる」が届きます ※正会員以外は、総会での議決権がありません



口座番号 02250-0-43800
加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください)



information

5月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

国際協力活動、アフリカ、ケニアに興味のあるボランティアスタッフ募集！！

キベラスラムの小学校の運営支援や、スタディーツアーの企画など、ケニア現地に根を張った活動を展開しているNPO法人です。現在、活動内容の情報発信やフェアトレード商品の販売に力を入れています。ぜひボランティアスタッフとして、共に活動しましょう！

- 活動場所：みやぎNPOプラザ内事務所、その他各種イベント会場等
- 対象：国際協力やアフリカに興味があり、NPO法人で経験を積みたい方
・フェアトレード商品のデザイン・企画やイベントの企画・運営に興味のある方
・国際協力の業界で自分のスキルを活かしてみたいという方
(特にWord、Excel、Power Point技術、HTMLやCSSの知識、Adobe Illustrator、Photoshopの技術等をお持ちの方)
- 主催：(特活)amani・ヤ・アフリカ
- 連絡先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ レターケースNo.16
TEL:090-9636-3020 FAX:022-247-4225
E-mail:info@amani-ya.com
URL:http://amani-ya.com/

「ふれあい=触れ愛」ハンドケアワークショップで癒し1000人ボランティア活動

ハンドケアマッサージで直接被災者と触れ合い、身につけたケア方法を地元に戻り実施することで、日本全国が「ふれあい=触れ愛」、家族や友人、いろんな方とんでも話や相談が出来る人格形成を目指します。

- 活動内容：ふれあいハンドケア講習を受けて、仮設住宅の高齢者へハンドケアを行う
- 活動日程：第15期 6月10日(日) 石巻開成地区第三仮設
第16期 6月18日(月) 仙台港背後地6号公園
第17期 6月21日(木) 七ヶ浜第一運動場仮設
第18期 6月25日(月) あすと長町仮設
第19期 6月30日(土) 石巻大森地区仮設拠点センター
※2012年4月～2013年3月末までの期間で合計96期開催
- 活動時間：10:30～12:00 ハンドケアワークショップ研修
13:00～15:00 学んだケアを仮設住宅に住む高齢者へ行きます
※各開催場所へ当日朝9:30までに集合
- 対象：男女問わず、年齢18歳以上の健康な方
※未成年者は保護者同伴となります
- 定員：各回10名(最小決行人数4名)
- 参加費：無料(昼食・飲み物・ボランティア保険料等は各自負担)

- 申込方法：HPの申込フォーム(<http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer13/ryELKGx8a9fMOgcTm7AH/>)から申込
- 募集主体：IDTAセラピスト協会
社の都チームドルフィンドリーム
- 連絡先：(ふれあいプロジェクト担当:天野)
TEL:022-287-8222
E-mail: idta@dolphindream.jp
URL: <http://www.dolphindream.jp/idta>

有給スタッフ

中学校の放課後学習補助「生徒指導アドバイザー」募集(非常勤スタッフ)

宮城県と福島県にて、中学生を対象とした放課後の補習授業を行います。一緒に働いてくれる有給スタッフを募集します。

- 活動内容：中学1～3年生を対象とした自習補助
- 活動日時：スタッフ登録後、月毎に勤務予定を確認しますので、ご自身の働ける時間を上手に使って勤務することができます
- 活動場所：宮城県南三陸町・仙台市、福島県いわき市内の中学校
- 資格：教員免許者、大学教授、臨床心理士、社会福祉士、学習塾講師、同様の経験者
- 募集定員：5名前後
- 報酬：時給1,200円 1日3～6時間
※交通費別途支給
- 申込方法：事前に電話またはメールで連絡の上、履歴書及び職務経歴書を郵送して申込
- 募集主体：(特活)キッズドア
- 連絡先：東北本部 事務局
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル7階
TEL:080-3338-1776(宮城県担当)
080-3337-9893(福島県担当)
03-5201-3899(東京本部)
E-mail: tohoku@kidsdoor.net
(「生徒指導アドバイザーの件」と明記)
URL: <http://kidsdoor-fukko.net/?p=1839>

お知らせ

春のアレマキャンペーン～全市一斉「ポイ捨てごみ」調査・清掃キャンペーン～

ポイ捨てを見て「アレマ～」と感じたら、清掃活動に参加して「ポイ捨て反対」を意思表示しよう。そのときからあなたは「アレマ隊」の一員です！

- 実施期間：6月1日(金)～6月21日(木)

◆「ろうきん」は「助け合い」の金融機関。働く人の暮らしと福祉、社会の充実に取り組みます◆

宮城県との提携による低利な融資制度!!

宮城県勤労者 融資制度

◆宮城県生活資金◆

をご活用下さい!!

通勤用マイカー資金、
リフォーム資金等
はたらくみなさんをバックアップ

ご利用いただける方

- ① 住所が勤務先が宮城県内にある中小企業にお勤めの方
- ② 原則満20歳以上で、勤続1年以上、前年税込年収150万円以上の方
- ③ 当金庫の審査基準を満たされる方



お使いみち

- ① 通勤用マイカー購入資金
- ② 住所移転費用
- ③ 結婚・出産・療養・葬祭に要する費用
- ④ 納税に要する費用
- ⑤ 住宅修理・付帯設備設置、災害復旧の費用
- ⑥ 介護機器等の購入費用
- ⑦ 上記①～⑥をこの制度に借り換える費用
(日常生活費及び上記用途以外の借り換え費用にはご利用できません。)

ご融資金額

最高200万円

ご融資期間

最長5年(条件により1年以内の元金償還期間含む)

ご融資金利

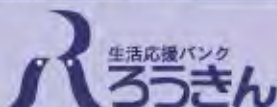
年2.5%(固定金利)

担保・保証

当金庫指定の保証機関をご利用いただけますので原則不要です。
保証料は別途必要になりますが、保証料が補給される制度もあります。

お問合せは「東北ろうきん」宮城県内の最寄りの店舗へ

【東北ろうきん】ではお客様のニーズに合わせた様々な融資商品を取り揃えています。



フリーダイヤル

0120-1919-62

ホームページ <http://www.tohoku-rokin.or.jp>

2012年5月1日現在

みやぎNPOプラザ 事務室使用団体募集中!!

みやぎNPOプラザでは、NPOや市民活動団体の皆さんに、活動拠点になる事務室をお貸しします。メンバーがいつでも集まれる拠点を持つことは、組織基盤の強化や活動の発展につながります。皆さんの熱い想いを実現するため、プラザの事務室を活用してみませんか?この機会をお見逃しなく!

募集施設および募集団体数	使用料	使用開始および使用期間
事務室(小:約4㎡) 1団体	月額 4,000円	平成24年9月1日～最長3年
事務室(中:約9㎡) 1団体	月額 9,000円	
事務室(大:約18㎡) 1団体	月額 18,000円	平成24年10月1日～最長3年

申込方法

必ず「募集要項」の応募団体の要件、入居後の使用条件、選考の方法などの詳細をご確認のうえ、所定の申込書と必要書類を併せて、みやぎNPOプラザまでご持参ください。
※募集要項・申込書はみやぎNPOプラザ窓口、宮城県共同参画社会推進課などで配布します。また、インターネット(<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>)からもダウンロードできます。

今後のスケジュール

- ・募集(申込)締切…………… 7月19日(木)
- ・公開ヒアリング・選考…………… 7月26日(木)
- ・選考結果連絡…………… 7月27日(金)

月刊杜の伝言板ゆるる

一緒に
月刊杜の伝言板ゆるるを
作りませんか
市民デザイナー
募集!!

月刊杜の伝言板ゆるるは1997年に創刊。毎月8000部を発行し、市民活動やボランティアをしたい市民と、それを応援したい企業、行政、市民などをつなぐ情報誌として、広く活用されています。この度、より多くの市民の皆さんに関わっていただきながら、制作することを目指し、市民デザイナーを募集することになりました。詳しくは、下記まで、お問い合わせください。